

## シンポジウム 5: 増加する STI への診療戦略

## 淋菌・クラミジア感染症の治療と蔓延防止戦略

労働者健康安全機構 中国労災病院 腎泌尿器外科

小林 加直\*

## 抄録:

淋菌・クラミジア感染症は、診断法および治療法が確立しているにもかかわらず、その蔓延を食い止められていない。本稿では、抗菌薬耐性の問題、スクリーニングの重要性、性感染症（STI）の予防に焦点を当てる。診療戦略として、若年者への教育および啓発活動は治療効果向上と蔓延防止を図るうえで不可欠である。

(西日泌尿. 87: 154-155, 2025)

キーワード: 淋菌・クラミジア感染症, 薬剤耐性菌, 診療戦略, 蔓延防止

淋菌およびクラミジア感染症は、STI の中で発生頻度が高く、2020 年以降は再度増加傾向にあり<sup>1)</sup>、特に若年者の増加が著しい。適切な診断・治療により治療可能だが、薬剤耐性菌の出現や無症候性感染者の存在が、問題を一層複雑化させている。本稿では、これら STI の現状と課題、ならびに今後の展望について論じる。

淋菌感染症は、耐性株の蔓延とともに治療薬が変更されてきた歴史をもつ (図 1)<sup>2)</sup>。近年は、推奨薬セフトリアキソンの耐性株が国内外より報告され<sup>3)</sup>、WHO の薬剤耐性菌プライオリティリストで、淋菌は「高い優先度」に位置づけられている。また、クラミジア感染症では、アジスロマイシン非感受性株が増加し、治療選択肢の制限が危惧されている<sup>4)</sup>。薬剤耐性菌を抑制するためには、クリニックでも導入可能な迅速診断技術 (Point of care testing: POCT) の開発が待たれる。POCT を使用して治療開始時に薬剤耐性情報を把握できれば、既存薬の有効活用が可能となる。しかし、POCT の実用化までは時間がかかるため、その間は推奨薬を耐性化させないように使用することが必要である。このため、耐性菌の動向を監視する薬剤感受性サーベイランスの継続が不可欠で、その時点での有効な薬剤選択が重要である<sup>3, 4)</sup>。

淋菌の咽頭感染は無症候が多く、感染拡大の要因となる。セフトリアキソンの代替薬であるスペクチノマイシンは淋菌性咽頭炎には無効であることに注意が必要である。一方、クラミジア感染症は、未診断・未治療が広範

囲の感染伝播を助長し、女性の妊孕性低下や新生児への感染リスクが指摘される。米国では、24 歳以下の性活動期女性を対象とした定期的なスクリーニングが推奨されている。STI は共感染が多く、一つの STI を見つけた場合、他の STI も併せてスクリーニングする必要がある。

STI の予防は、集団および個人の両面からの取り組みが不可欠である。集団予防においては、性教育やスクリーニング検査の普及に加え、パートナーへの対応が課題として挙げられる。学校において性教育が行われているものの、継続的な STI の啓発が必要である。しかしながら、STI の啓発を含むアプリの多くが教育分野に含まれることから、若年者に効果的に届いていない可能性がある。また、出会い系アプリなどの SNS と STI の関連性が指摘される中、SNS を活用した働きかけは、行動変容を促す効率的な STI の予防手段として期待されること

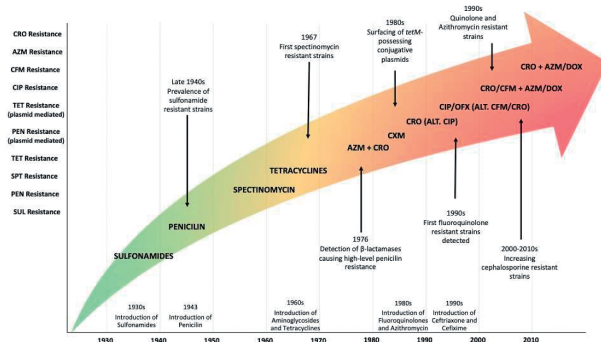


図 1 Timeline of developed and recommended antimicrobials paired with the emergence of resistances in *Neisseria gonorrhoeae* during the last century.

\* 〒737-0193 広島県呉市広多賀谷1丁目5番1号  
TEL 0823-72-7171, FAX 0823-74-0371

受付日: 2025 年 1 月 22 日  
受理日: 2025 年 2 月 14 日

である。実際に、海外においては SNS を活用した匿名通知ツールが普及しており、感染者がパートナーに感染の事実を伝達しやすくする社会的仕組みが構築されており、STI の蔓延防止に寄与する可能性がある。

個人予防の観点としては、第一にコンドームの適切な使用が基本である。不特定多数のパートナーを持たないことも重要であり、加えてワクチン接種も効果的な予防策となり得る。しかしながら、淋菌感染症では、血清型 B をカバーする髄膜炎菌ワクチンの予防効果が示されているが<sup>5)</sup>、我が国では未承認の状況である。また、クラミジア感染症のワクチンは未だ実用化には至っていない。近年、複数のランダム化試験で淋菌・クラミジア感染症に対するドキシサイクリンの曝露後予防効果が示されているが、長期使用による耐性化や常在細菌叢への影響が懸念され、我が国では推奨されていない。

いずれにしても、POCT やワクチンが普及するまでは、耐性菌の動向を注視しつつ適切な抗菌薬の選択が重要である。STI の診療においては、患者が安心して相談できる雰囲気の醸成に努めるとともに、特に若年者に対しては safer sex に関する情報提供を徹底することが肝要である。具体的には、コンドームの適切な使用、不特定多数のパートナーを避けること、パートナーを含めた STI の定期検査の推奨が挙げられる。また、SNS を活用した STI の啓発活動が社会的に広がりを見せ、その重要性が社会全体に醸成されることが望まれる。

## 文 献

- 1) 国立感染症研究所. グラフ 12-4 月報定点把握対象疾患の性別、年別報告数と定点当たり報告数.  
<<https://www.niid.go.jp/niid/ja/allarticles/surveillance/2270-idwr/nenpou/12557-grplist2022.html>> [Accessed 2025 January 5]
- 2) Pérez, J.C. et al.: Addressing sexually transmitted infections due to *Neisseria gonorrhoeae* in the present and future. *Microorganisms*. **12**: 884, 2024.
- 3) Yasuda, M. et al.: The third nationwide surveillance of antimicrobial susceptibility against *Neisseria gonorrhoeae* from male urethritis in Japan, 2016–2017. *J Infect Chemother*. **29**: 1011–1016, 2023.
- 4) Takahashi, S. et al.: Nationwide surveillance of the antimicrobial susceptibility of *Chlamydia trachomatis* from male urethritis in Japan: Comparison with the first surveillance report. *J Infect Chemother*. **28**: 1–5, 2022.
- 5) Abara, W.E. et al.: Effectiveness of a serogroup B outer membrane vesicle meningococcal vaccine against gonorrhea: a retrospective observational study. *Lancet Infect Dis*. **22**: 1021–1029, 2022.

## STRATEGIES FOR TREATMENT AND PREVENTION OF GONORRHEA AND CHLAMYDIA INFECTIONS

KANAO KOBAYASHI

Department of Urology, Chugoku Rosai Hospital, Japan Organization of Occupational Health and Safety, Hiroshima, Japan

### Abstract

Despite established diagnostic and treatment methods, gonorrhea and chlamydia infections remain uncontrolled. Key challenges include antimicrobial resistance, the importance of screening, and STI prevention. Education and awareness programs targeting young people are essential strategies to improve treatment outcomes and prevent further spread.  
(Nishihon J. Urol. **87**: 154–155, 2025)

key words: gonorrhea and chlamydia infections, antimicrobial resistance, clinical strategies, prevention